平成28年度 第8回 教育委員会議事録

1 開催日及び場所

平成29年2月23日(木) 午前9時30分から午前11時30分
山県市役所2階 201会議室

2 議事日程

- 日程第1 前回議事録の承認
- 日程第2 議事録署名者の指名
- 日程第3 教育長の報告
- 日程第4 議第18号 平成28年度一般会計補正予算(第4号)について
- 日程第5 議第19号 平成29年度一般会計当初予算について
- 日程第6 その他

3 出席者

教育長 伊藤 正夫
教育長職務代理者 大野 良輔
教育委員 藤岡 功
教育委員 川田 八重子
教育委員 江崎 由里香
事務局 学校教育課長 早川 剛
生涯学習課長 梅田 義孝
公民館長 堀 邦利
学校教育課 恩田 拓充 木田 好美

4 会議次第

(午前9時30分開会)

大野職務代理者 ただいまより、平成28年度第8回教育委員会を開催いたします。

日程第1、前回議事録の承認について。

事務局に説明を求めます。

事務局(恩田) 日程第1、前回の議事録の承認について。

委員の皆様には、前もって議事録を送付させていただいております。

要点のみ説明させていただきます。資料ナンバー1をご覧ください。

平成28年度 第7回教育委員会が平成28年1月30日、月曜日、市役所3階301会議室において開催されました。

出席者は、教育委員3名、教育長、事務局5名で、藤岡委員が欠席でした。

会議は午前10時35分に開会され、前回の議事録の承認、議事録署名者が指名されました。

教育長より、鳥インフルエンザへの対応、教育委員会月報への山県市型コミュニティスクールの掲載、勤務評価制度の変更、中学校の部活動への対応についての4点の報告がありました。

議事としまして、3議案を審議のうえ決定され、承認案件1件を承認されました。

会議は午前11時50分に閉会しました。以上でございます。

大野職務代理者 ただいま事務局からの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

ご質問等が無いようですので、前回議事録の承認について、承認します。

続きまして、日程第2、議事録署名者の指名について、今回は藤岡委員を指名します。

藤岡委員 はい、了解しました。

大野職務代理者 続きまして、日程第3、教育長の報告について。

伊藤教育長に報告を求めます。

教育長 4点報告させていただきます。

1点目は市内の学校や教員の方が表彰を受けることになりましたので、ご報告させていただきます。まず梅原小学校が、岐阜県ふるさと教育表彰として県内優秀校21校の中の1校に選ばれ表彰されました。また同じく梅原小学校が、岐阜地区学

校図書館教育優秀賞で最優秀賞3校のうちの1校に選ばれまして表彰を受けます。もう一つ梅原小学校は岐阜県学校安全優良校ということで、岐阜地区で小中学校1校ずつですが、その小学校の1校として災害安全と自転車等の交通安全への取り組み、特に災害安全では、梅原小学校は地域との絆を深めるため「ゆう・友・ふれあいフェスタ」というものを開催しているのですが、その中で過去に災害に遭われた地域の方から、子どもたちにその時のお話をさせていただき取り組みなどを行っており、それらが認められて表彰されます。それから教員の表彰ですが、文部科学大臣優秀教職員表彰を高富小学校の教員の方が県内12人のうちの1人として受けます。表彰式が3月に東京大学安田講堂で行われます。

2点目は山県市の学校教育の指針についてですが、資料は後日お配りすることになります。学校教育の指針として毎年学校の先生方にお配りするものです。この中で来年度に大きく変更するところとして、自己有用感の育成があげてあります。今、子どもたちが自分には良いところがあると思っているという数値や割合が低いので、自分には良いところがあるという自己有用感をいろいろな場で育てていきたいと思います。それと外国語活動についてですが、小学校英語を中心に小中学校連携で進めていきます。また、保健安全教育として地域と連携した防災教育に各学校で取り組んでいただきたいと思います。昨日各校区の連合自治会長さんとお話しする機会がありまして、学校からの依頼へのご協力をお願いしましたら、既に取り組んでいる所もあるそうでして、何人かの方は学校から話は聞いているので是非一緒に取り組みたいと言っていました。うまく進んでいけばよいと考えています。

3点目は、山県高校の活性化協議会についてですが、来年度予算で市としての助成をあげてあります。県の高校活性化対策で今年度にグループ1の高校には県からの助成がありまして、グループ2の山県高校にも早ければ来年度に助成があるかもしれませんが、それとは別に市としての助成を行うとしています。現在山県高校の将来を考える未来プロジェクトとして協議会が開催されているのですが、昨日その会議がありまして、その中で決定されたことは、将来的に多様な学びができるよう今年度中に単位制もしくは総合学科への変更を県教育委員会へ要望していくということでした。予定として、今年度に要望すれば、来年度に検討課題として取り上げられて、平成31年度には県の方針として示されるのではないかとということでした。単位制や総合学科への変更の中には、工業系を学べるコースを作りたいと

ということがあります。施設などの整備が必要になるので、工業高校への変更はできませんが、先に市教育委員会なども協力して山県高校が行った市内企業のヒアリングでは、企業の経営者の方などから、技術的なことは入社してから教えるので、高校では基礎的な安全意識を身につけてもらいたいとの声がありまして、工業系の基礎コースとすれば、そのようなことはできるのではないかとということがありますので、その点を視野に入れて要望していくということになりました。

4点目は、岐阜刑務所でボランティア活動をされている市民の方から、岐阜刑務所が受刑者のための本を収集していて、どこかに余っている本が無いかというお話がありまして、学校では図書の入替えて毎年廃棄本が発生しますので、それによければお譲りしてもよいということをお話ししましたら、岐阜刑務所の方からは是非いただきたいという依頼がありまして、お話があったのが昨年秋で、図書の入替え作業は主に夏休みに行うため、既に廃棄が済んでしまってあまり数は無かったのですが、それでも段ボール箱で5、6箱の本が集まりました。受け取る時に刑務所の方でチェックして、学校の蔵書印などは消してどこにあったものかは分からないようにし、使用不用のものは責任を持って廃棄するとのことでしたので、お渡ししました。それで廃棄本が出るのは毎年とのことなので、岐阜刑務所としては今後も継続していきたいとして、お配りした案のように市教育委員会と覚書のようなものを取り交わしたいということで、廃棄本の譲渡のこととできれば受刑者の教育という面でも協力いただけないかとのことですが、このことについては、しばらくは教育委員会事務局の方で対応できれば対応するつもりです。市や教育委員会はいろいろな大学などと協定を結んで連携しておりますが、これを契機に保護者の方のご理解を得たうえで、岐阜刑務所との連携ということも検討していきたいと考えていますが、今のところは廃棄本の譲渡などについて文書を取り交わしたいと考えています。以上です。

大野職務代理者 ただいま教育長より報告をいただきました。何かご質問等はございませんでしょうか。

江崎委員 岐阜刑務所との連携についてですが、ほかにもこのように地元と連携しているというような例はありますか。

教育長 県内では初めてのことだと思います。今回はボランティア活動をされている市民の方のご相談から始まって、このようなことになったものです。中国地方では大学

と連携している刑務所もあるようですが、地元と連携しているということは無いようです。

大野職務代理者 受刑者と接点を持つということは無いのですか。

教育長 それはありません。学校は校長先生がどこへ本が納入されたかを把握しているだけのことになります。

大野職務代理者 全く側面的な援助ということになるのですか。

教育長 そうです。直接的な接点として考えられるのは、教育に関して、教育委員会事務局の者が教えに行くことが可能な場合のみです。

大野職務代理者 刑務所内で製作された家具などを販売する矯正展というものがあまして、その時は地域の方も刑務所の中に入ったりしますから、地域とのつながりが全く無い訳ではありません。

教育長 小学生の読む本は癒やしにもつながるので、そのことも大事ですと言われる校長先生もみえます。

大野職務代理者 このことに関して、教育委員会として何か見解を出すことが必要なのでしょうか。

教育長 委員の皆様にご承知しておいていただくだけで結構です。

川田委員 案の中に廃棄本の譲渡のことは書かれていませんが。

教育長 学習環境の向上に関することが、それに当たりまして、今後追加、修正する部分もあるかもしれません。まだ案の段階ですので内容は変更する可能性があります。一般的に協定や覚書を交わすのは双方にメリットがある場合ですが、今の段階では、こちらからの提供だけですので、これからいろいろ考えていかなければなりません。

大野職務代理者 少年刑務所の所長とかは講話の得意な方もみえますから、講師などをお願いするという事も考えられます。

川田委員 生徒指導に関する講演などもできるのではないのでしょうか。

教育長 具体的なことは今後検討していくことになると思います。

大野職務代理者 そのほかよろしいでしょうか。

藤岡委員 表彰のことについてですが、我々のように40代以上の年代は叱られることが美学のような教育をされてきましたが、今30代以下の人は叱られることが受け入れられなくなって、叱ると逆効果になってしまいます。それで何が言いたいかという、このようにがんばったことに対して、褒めるということをしっかりやってもらいたいということです。表彰されただけで終わりではなく、発表会などもやら

れるとは思いますが、その時にがんばったことを褒めるということを行って欲しいです。そのことでステップアップしていくと思います。そのようなことを意識して発表会なども工夫していただければ、学校同士の切磋琢磨にもつながると思います。

教育長

梅原小学校につきましては、当然子どもたちの集会の場で表彰の報告をしまして、このような活動の成果で表彰を受けたとういこと説明していると思いますし、市の広報紙に掲載したりもします。岐阜県ふるさと教育表彰については、先日梅原地区公民館の学習発表会がありまして、その際に地域の方々の前で伝達式が行われて、地域の人たちも大変に喜ばれていたとのことです。ご提案は大変参考になりましたので、今後意識して行っていきたいと思います。

大野職務代理者 そのほかよろしいでしょうか。

では、ご質問等が無いようですので、次にまいります。

日程第4、議第18号、平成28年度一般会計補正予算（第4号）について議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） それでは、資料ナンバー2をご覧ください。

議題18号、平成28年度一般会計補正予算（第4号）について。

平成28年度一般会計予算（教育予算）を補正したいので、山県市教育委員会教育長事務委任規則第2条第11号の規定に基づき、別紙のとおり市長に意見を申し出る。平成29年2月23日提出。山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

別紙の1ページ目ですが、私立幼稚園就園奨励費補助金と教育ローン利子補給金につきまして、対象者がほぼ確定いたしましたので、不用額と見込まれる額、それぞれ180万円と20万円を減額します。幼稚園保育料助成金につきましては、山県まちづくり振興券で助成しているものでして、当年度の助成金額が実際の支出金は翌年度に発生するというものでありましたが、平成29年度からこの振興券の事務取扱方法が変更になりまして、基金を創設してそこから一括して支出することになりましたので、当年度の助成金額を当年度に支出することになり、平成28年度分として平成29年度に支出予定でありました2,757万5千円を平成28年度中に基金に対して支出するため、補正により増額するものです。

2ページ目ですが、小学校費の電気設備保守点検委託料が20万円の減額、学校施設清掃委託料が30万円の減額、スクールバス業務委託料が70万円の減額とな

っております、すべて入札差金による減額であります。

3ページ目の工事請負費の空調整備工事ですが、以前にご説明させていただいた小学校の普通教室等のエアコン整備につきまして、これまでは平成29年度の当初予算で実施したいとしてきましたが、国の補助金が前倒しで平成28年度補正予算につくことになりましたので、今回エアコン設置に伴う電気設備の修繕工事分と併せて、1億4,443万8千円を増額補正して平成28年度事業として実施いたします。実際の工事は繰越により平成29年度に行うこととなります。それと備品購入費の一般備品で小学校の机・椅子で82万2千円の減額、小学校教職員用パソコンで430万円の減額となっております、これも入札差金による減額であります。

4ページ目ですが、中学校費のスクールバス業務委託料が60万円の減額となっております、これも入札差金による減額であります。

5ページ目ですが、中学校の各種工事で70万円の減額、中学校教職員用パソコンで90万円の減額となっております、これも入札差金による減額であります。

学校教育課分は以上でございます。6ページ以降は生涯学習課長よりご説明いたします。

生涯学習課長 最初に文化施設費ですが、今年度に図書館の空調機器を入れ替えまして、その入札差金で130万円の減額となります。

次に文化財保護費の無形民俗文化財調査研究等事業補助金につきまして、平成27年から29年度までの3年間継続事業として、山県市の無形民俗文化財を調査、研究するものですが、無形民俗文化財調査の実行委員会を立ち上げてそちらに補助金を交付する仕組みとしていましたが、国から実行委員会に直接補助金が交付されることとなりましたことと事業費が若干増えましたことを含めて、329万5千円の減額となります。

その次の保健体育施設費ですが、総合運動場のテニスコート改修工事を現在行っております、3月に完成見込みですが、これの入札差金により350万円の減額となります。以上でございます。

大野職務代理者 ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問などありましたらお願いいたします。

大野職務代理者 3ページの教職員パソコンですが、減額になったことはよいことですが、かなり大きな額ですので、当初の予算の積算に課題があったのではないですか。

事務局（恩田） 当初の積算から担当者の方で精査をいたしまして、必要最低限となるスペックやソフトを厳選しまして、設計の段階でできる限り不必要な部分を削り、パソコン本体も同じ性能で単価の安いものを選ぶなどして金額を抑える努力をいたしまして、入札の結果、当初予算よりもかなり低い額で更新することができました。

学校教育課長 ご指摘のように、当初の積算がどうであったかというのはしっかりと検討して、今後にかしていきたいと思います。

大野職務代理人 そのほかよろしいでしょうか。

それでは、ご意見が無いようすでお諮りいたします。

議第18号、平成28年度一般会計補正予算（第4号）について、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

大野職務代理人 異議なしと認めまして、平成28年度一般会計補正予算（第4号）について決定をいたします。

続きまして、日程第5、議第19号、平成29年度一般会計当初予算について議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 資料ナンバー3をご覧ください。

議第19号、平成29年度一般会計当初予算について。

平成29年度一般会計当初予算（教育予算）を定めたいので、山県市教育委員会教育長事務委任規則第2条第11号の規定に基づき、別紙のとおり市長に意見を申し出る。平成29年2月23日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

別紙当初予算の概要によりご説明させていただきますが、1ページ目が山県市の全体の予算になりまして、一般会計予算は127億円で前年度に比べまして4億2千万円の増となります。

続きまして2ページ目が費目別の予算額で、教育費としましては10億8,070万2千円となりますが、こちらは職員の給料等を含んだ額となります。前年度に対して8,767万2千円の増となります。

3ページ目が課ごとの内訳になりまして、学校教育課が5億7,567万2千円、

生涯学習課が2億7,018万1千円となっております。前年度と比較しますと学校教育課が9,567万6千円の増、生涯学習課が2,061万5千円の減となっており、学校教育課の増額の主な理由は、来年度1億250万円ほどをかけて、小中学校のLED化工事を実施することによるものです。

4ページ以降、主な歳出予算一覧表となっております、こちらの方で主な事業についてご説明させていただきます。表の方に二重丸で新規事業、一重丸で拡充事業が記されておりますが、丸印のある事業のみご説明させていただきます。

まず4ページの「大学院教育学研究科履修助成費」ですが、こちらは大学院で特別支援教育の専門課程を履修される市内小中学校勤務の先生がみえました場合、その方に助成を行うということで26万8千円が計上してあります。特別支援教育を担う人材を育成するという目的で助成するものです。

続いて「サーバー室備品更新及び教職用パソコン更新費」として578万5千円となっております。こちらは二重丸で新規事業となっておりますが、実際には現在既にあるものの更新でして、教育系情報システムのサーバーの更新と教育センターに設置してありますパソコン6台の更新です。何年間に1回の更新となり、昨年度はなかったものですので、新規となっております。

続きまして「小学校高効率型照明整備工事」ですが、市内小学校9校で6,490万円となっております。照明のLED化の工事として、学校施設の省電力化のために実施するものです。

続いて「小学校教職員用パソコン更新費」として、956万2千円が計上してあります。平成28年度から引き続いて行うもので、平成29年度は76台の更新を予定しております。

5ページにまいりまして、「中学校高効率型照明整備工事」ですが、市内中学校3校で3,760万円となっております、先ほどの小学校と同様に照明のLED化の工事を行います。

続いて「中学校教職員用パソコン更新費」として、963万6千円ですが、こちらも小学校と同様に行うもので、75台の更新を予定しております。

続いて「山高未来プロジェクト負担金」ですが、先ほどの教育長からの報告にもありました山県高校の活性化協議会の名称が、山高未来プロジェクトとして、そこに対して市として支援を行うということで100万円が計上してあります。

学校教育課については以上でございます。続きまして、生涯学習課の方からお願いいたします。

公民館長 6ページの美山中央公民館管理費のうち「音響設備改修工事（第2期）」として1,941万9千円ですが、第1期を今年度実施しまして、音響卓のデジタル化を行いました。第2期ではスピーカ、アンプなどの更新を行います。

同じく「舞台設備改修工事」の143万7千円につきましては、舞台吊りロープの更新です。

「1階男子トイレ改修工事」の100万円は、1階男子トイレに洋式便器がございませんので、1器のみ洋式に変えるという工事であります。公民館については以上です。

生涯学習課長 図書館等管理費のうち「照明LED蛍光灯交換工事」ですが、主に常時使用している図書室の蛍光灯を交換する工事として160万円を計上いたしております。

7ページの「伊自良テニスコート人工芝張替工事設計委託料」、「伊自良テニスコート人工芝張替工事」ですけれども、伊自良テニスコートとして2面のテニスコートがありまして、平成7年に造成後1度も改修されていないため老朽化が進んでおりますので、張り替えを行うものです。設計費を54万円、張替工事費を1,021万4千円、計上しております。補助金は無しで、合併特例債を使って行います。現在行っている総合運動場のテニスコートは、3,000万円ほどの事業費のうちt o t oから1,600万円ほどの補助金をもらって整備しましたが、今度のは規模が小さいのでt o t oの補助金に該当しませんでした。この伊自良テニスコートの整備が終わりましたら、市内の主なテニスコートの整備が完了することになります。梅原のテニスコートは、平成26年度に整備しまして、谷合にありますテニスコートは利用率が低いので改修は考えておりません。

次に「富波グラウンド天然芝新設工事」として400万円を計上しています。以前に平成28年度の補正予算に計上するというご説明させていただきましたが、平成29年度当初予算とすることに変更いたしました。教育センターのグラウンド、約2,700㎡を芝生化するもので、芝のポットを埋めていく方式で行います。ヘリポートとしてだけでなく、多目的な利用を図っていきます。生涯学習課については以上です。

大野職務代理者 ただいま事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問などありましたらお願い

します。

藤岡委員 4ページの大学院教育学研究科履修への助成ですけれど、これは該当する方がみえて計上しているものですか。それと大学院を履修後に他の市町村へ異動してしまうと、せっかくの助成が無駄になってしまうということは無いですか。もう1点、パソコンの更新ですが、先ほどの今年度補正予算で話がありました、当初予算が過大であったことをふまえて積算してありますか。

学校教育課長 最初のご質問ですが、実は岐阜大学の教職大学院のシステムが来年度から少し変わって、現役の先生方が学べるように夜間の課程が開設されるようになります。それで、まだ具体的に誰がその課程を受けるかは決まっていますが、来年度にその次の年度の募集が行われる中で、この制度を含めて市の教職員の皆さんに周知をして応募を募りたいと思います。今、市の特別支援教育を支えている教職員が高齢化してしまっていて、特別支援学級の担任の先生がこの何年かのうちに定年退職を迎えます。このため、これからの市の特別支援教育について、全市的に指導やコーディネートできる人材を育てていくということが急務となっていて、市校長会からも要望があります。来年度に岐阜大学大学院の募集要項が明確になった時点で、将来市の特別支援教育を担える人材と見込める方に、校長を通じて応募の働きかけをして、人選を進めていきたいと考えています。委員ご指摘のとおり、県の教職員でするので、県内どこへでも異動するという可能性はあるのですが、勤務の本拠地が山県市にあって、今まで山県市で勤務され、今後も山県市で勤務することが予想される教職員の方に働きかけをしていきたいと考えています。

また、パソコンの更新につきましては、今年度の契約実績をふまえて積算しております。

大野職務代理者 大学院履修への助成については、該当するための条件が多くて厳しいですね。年代的にはどれくらい年代を考えておられますか。

学校教育課長 できれば30代後半から40代半ばまでと考えています。

大野職務代理者 その年代ですと家庭生活も大変な時期ですね。

学校教育課長 はい、それで管理職の理解が重要になってきます。それと費用がかかることなので、少しでも市の助成ができればと考えます。このようなことは県内初だと思いますので、何とか応募していただけないかと思います。

藤岡委員 今までハード事業にお金をかけてきましたが、これからは人にお金をかけていか

なければならないと思います。人づくりというのは非常に大切なことですから、是非実施していただきたい。

教育長 一般的に大学院で学べば、学んだ方の資質は必ず向上しますが、それ以外に学んだことが学校や地域に還元されるかということがあります。助成を受ける人は、学校や地域に還元するミッションを持って行くということを伝えて、しっかり選考して送り出したいと思います。

藤岡委員 通われる時は、本当に管理職のバックアップが必要ですので、校長先生などに徹底して、通わせる状況を作っていただきたいと思います。

大野職務代理者 市内で指定があるかどうか知りませんが、特別支援教育の基幹となる小中学校があつて、そこに資格をもった先生を配置して、そこから市内の小中学校の連携をとって行くという方針であろうかと思えます。応募に関しては、積極的に働きかけていかなければいけないと思います。全額助成するくらいでも良いのではないのでしょうか。

江崎委員 発達障がいの子というのは増えていますので、専門の方が一人いていただけるだけで、その学校の他の先生も非常に助かると思います。できれば市に一人ではなく、各学校に一人ぐらいはいて欲しいと思います。それで、夜間に通われるということは、日中は普通に勤務することになるのですか。

学校教育課長 はい。夕方から通うことになります。

江崎委員 来年度募集があつて受験して、実際に入られるのが再来年度になると、授業料は再来年度に必要なことになりませんか。

学校教育課長 教育長の方から岐阜大学の方にお話を伺って、まさにご指摘の通り授業料の納入は再来年度になるということですが、市としては来年度に予算執行する必要がありますので、事務的なことですがいろいろと方法を検討していきたいと思えます。

江崎委員 市として今後もこの助成を続けていくという姿勢を示していただければと思います。それと一つ質問ですが、今、岐阜大学の教職大学院に現役の先生方が通ってみえますが、あの方たちは県の教職員の方ですか。

教育長 県の派遣ということで行っておりまして、今年度までは今の形しかありませんでした。この方たちは授業料、入学料は、すべて自己負担ですが、派遣ですので代わりの先生が学校に入りますから、学校に影響は出ません。ただ県の方もこれを来年度から管理職養成コースに変える予定でして、昼間は管理職養成コースで、夜間が

今までの特別支援や教育心理のコースなどになり、夜間のコースには県の派遣がありませんで、個人の意思が尊重されることになります。それで夜間に通うことの問題は、皆さんが言われるように学校を出て行きやすい環境がつかれるかどうかと経済的な負担です。ここをクリアしないとこちらも勧めることが難しいですので、市の校長会で、例えば学校規模や距離などから大学院へ通うことが難しい学校の方が希望された場合は、学校を異動させることも考えなければならぬので、1つの学校の校長の思いだけでなく、校長会として市全体で行きやすい環境考えて欲しいということを話させていただきまして、校長会の同意をいただきました。環境作りについては校長会で責任を持って行い、経済的な負担については市の方で考えることとしました。

大野職務代理者 市に特別支援教育のセンターのような学校があつて、そこから各学校に発展させていくという方針が必要だと思います。

教育長 現在の状況では富岡小学校がその候補となるかと思います。

学校教育課長 自閉症・情緒障がい特別支援学級が現在は富岡小学校にしかございません。ただ来年度には美山小学校にも自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設できることになりましたので、この契機に全市的な体制を整備する必要があると考えています。

大野職務代理者 ほかにご意見などございませんでしょうか。

生涯学習課長 一つよろしいでしょうか。7ページの国際交流事業ですが、以前にご説明しましたとおり今年度フローレンス市への派遣ができませんでしたが、来年度も青少年の海外派遣は実施しないこととしております。今後の方針については市幹部とも協議しまして、時間をかけて決めていきたいと考えています。

藤岡委員 フローレンス市と交流していますが、それ以外のところで交流しているところは無いのですか。

生涯学習課長 フローレンス市以外にありません。市民の交流については続けていきますが、青少年の海外派遣については、検討していくということです。

教育長 友好都市の交流と青少年の海外派遣を国際交流の中でも区別していこうと考えています。こちらの国際交流事業としては、青少年の海外派遣による人材育成にということを検討していきまして、来年度は実施を見送る方針です。

大野職務代理者 国際交流は市として何か大きなものは無いのですか。

生涯学習課長　今のところは無いです。岐阜県がリトアニアとの交流の中で、リトアニア国内の各都市と岐阜県内の各都市との交流を進めるという動きがありますが、まだ具体的なものではありません。

教育長　市の国際交流の窓口は生涯学習課になりますので、友好都市提携なども生涯学習課が検討することになります。

事務局（恩田）　学校教育課の方からも一つよろしいでしょうか。5ページの中学校学習支援員報酬が昨年度より206万4千円の減額となっておりますが、これは小学校にも中学校にも対応できる学習支援員を配置するため、1名分を中学校から教育センターの配置に変えて、予算を組み替えたことによるもので、市全体の学習支援員の人数に変更はありません。

川田委員　複式学級の場合、どの教科に学習支援員がつくのですか。

教育長　基本的には複式学級の解消のために学習支援員を入れるという考え方はしておりません。複式学級のある学校では、しっかりと複式による授業、いわゆる「わたり」というものを行うとしております。学校に聞いてみますと複式による授業にも良さがあり、子どもたちが自主的に勉強することができるようになるということを感じておられます。そのため補佐として入ることはありますが、この教科には学習支援員を入れるということはありません。

川田委員　高富児童館が指定管理制度に変わるということですが、高富小学校の放課後児童クラブはそのまま高富児童館で行われるのか、それともほかの場所に移るのでしょうか。

学校教育課長　場所はそのまま変わりません。

教育長　それとこの一覧表には出てきませんが、各小中学校の図書館のバーコード化を行います。うまくいけば、他の学校の蔵書を検索することもできるようにならないかと考えています。

事務局（恩田）　バーコード化されていない小学校6校分で24万9千円ほど、中学校2校分で6万5千円ほどで導入いたします。以前から検討していた方法に比べますと格段に安く導入できます。

教育長　担当者がいろいろと考えまして、インターネットのクラウドを使ったシステムを見つけました。山県市として閉じた中で運用できるので、外へ漏れることもありません。パソコン上で学校の蔵書のところをクリックすれば、その学校の蔵書一覧が見ら

れて、お互いの学校でそれを行うことができれば他の学校の蔵書一覧も見ることができます。これに関連して教育センターに先生用の図書室を開設できないかと思っていますので、委員の皆様もお薦めの本がありましたらご紹介ください。

学校教育課長 来年度に導入後、機会がありましたら委員の皆様に見てもらうことも計画したいと思います。

大野職務代理者 このような取り組みをしているのは、全国的に珍しいことですか。

教育長 学校が使っているのは、宮城県の方で備品台帳に利用している1例だけだそうです。数年前に自宅の本棚が図書館になるという画期的なアプリとして、大賞を取ったそうで、それを担当者が学校で使えないかと調べてきました。

大野職務代理者 先進的なことと、経費的な面も含めて是非アピールしていただきたいです。

学校教育課長 最近の本にはすべてバーコードがついていますので、バーコードリーダーさえあれば登録は非常に簡単で、パソコン上で蔵書の管理ができます。

大野職務代理者 それでは他によろしいでしょうか。

それでは、ご意見が無いようですので、お諮りいたします。

議第19号、平成29年度一般会計当初予算について、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

大野職務代理者 異議なしと認めまして、平成29年度一般会計当初予算について決定いたします。

続きまして、日程第6、その他について何かございますでしょうか。

事務局(恩田) 事務局からですが、次回の会議を3月7日、火曜日、午前11時から市役所会議室で開催いたします。当日の中学校卒業式後に開催いたします。また、その次の会議を3月23日、木曜日、午後1時30分から開催したいと思います。当日の午前中が小学校の卒業式ですが、その後に開催したいと思います。皆様のご都合がよろしければ、その日で決定したいと思いますのでよろしく願いいたします。

生涯学習課長 2月25日の土曜日になりますが、みやまジョイフル倶楽部の方でイベントがありますのでご案内させていただきます。また、3月18日には恒例のジョギング大会がありますので、よろしければご参加ください。以上でございます。

大野職務代理者 その他よろしいでしょうか。